

創刊に あたり

日頃より金沢河川国道事務所が担当しております事業等へのご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国道8号 海側幹線（今町～鞍月）事業は、令和2年度に事業化され、現在までに説明会、測量作業、幅杭設置、用地調査、設計等を進めているところです。

この「うみかん便り」は、海側幹線（今町～鞍月）事業の進捗状況などを沿線にお住まいの方々をはじめ、広くお知らせするため創刊いたします。

今後も随時情報を発信していきたいと考えておりますので、ご愛読のほどよろしくお願ひいたします。

金沢河川国道事務所長 五十川 泰史

事業の概要

国道8号海側幹線（今町～鞍月）事業は、金沢市今町～福久地区、及び大河端～鞍月地区において、立体構造となる本線部を整備し、金沢都市圏の交通の流れを円滑にするとともに、安全な道路を目指す事業です。



現在の 状況

現在は、「ボーリング調査」という、地下に向かって穴を掘って地質を調べる調査を進めています。これらの結果を基に道路の構造の形式を検討しています。

また、今町から福久地区においては、事業に必要となる土地の現況や面積を調査する用地測量を進めています。今後は、建物や工作物、立木などの調査に入っていきます。

地域の皆様には、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

